

主な事例

①福祉分野

76 精神障害者に対する偏見がいまだに強い。憩いの場づくりをしたいが、地域から反対が上がる。(類型1)



133 学童や保育園では、障害があるとわかると入園を断られることが多い。昼間の療育が満足に受けられず、心が育たないまま学校に入学し、二次障害につながる。(発達障害 類型1)

109 子供の頃、悪いことをしたり、帰りがちょっとでも遅いと父親に暴力されたり、外出が禁止されたりした。(知的障害 類型2)

13 施設で、陶芸やパソコンをするには足を支える台が必要(手が不自由で、足で操作するため)であると要望したところ、「貴方の要望より施設の倉庫を作るほうが優先である」と言われショックを受けた。(身体障害 類型3)



つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
20	目が見えないので、置いている物の位置が変わるとパニックになるが、自分がやって欲しいこと以外のこともヘルパーがやることもあり、困ると伝えると「やってあげているのに」と言われた。(身体障害)	4
51	福祉関係者から「親の育て方の問題なのに子どもが障害者にさせられてかわいそう」と言われた。(発達障害)	4

②医療分野

167 小児科、外科、歯医者で知識がなく、かかれる医療機関が少ない。器具に触りまくるので治療前に追い出されたことがある。(発達障害 類型1)



156 病院でマスクをしている看護師や医者もあり、口話で読み取ることができない。説明がちゃんと聞き取れたか等、医療に対する不安がある。(身体障害 類型3)



153 病院の人間ドックでCTとかレントゲンのときに手話通訳が入室できず1人になる。係の方とコミュニケーションが取れず、困ることがある。(身体障害 類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
160	医師から、障害のある子を持つ親に対して、「知恵遅れ、これ以上良くなることは見込めない」など心ない言葉があった。(＊関係者は、言動に注意が必要。)(知的障害)	4
190	痰吸引器のバッテリーが1～2時間しかもたないのに、停電が一番怖い。停電する時間が前もってわかっていたら、特定の人だけでも知らせてもらえれば、心の準備が出来る。(難病)	4

③商品販売、サービス提供

201 大規模な飲食店で、入店拒否されたことがある。(身体障害 類型1)

209 コンビニ等で店員にずっと待たされ、他の人を優先されたことがある。(身体障害 類型1)

235 筆談をお願いしても、書くことを拒否されたり、乱暴に書かれたりする。(身体障害 類型1)



199 通院している病院はバリアフリーでも、院外薬局がバリアフリーとなっていないことが多い。(身体障害 類型3)

219 まつり会場から離れた駐車場等で、主催者から、イベント会場へのシャトルバス利用を促されたが、車椅子なのでバスに乗れず、まつりに行けなかった。(身体障害(視覚、肢体不自由等) 類型3)

247 スイミングスクールに長年通っているが、当初、知的障害者は入れないとめた。他には、泊りがけのキャンプがあり本人が行きたがったが、世話が出来ない事を理由に断られた。ボランティアを募って、何とか参加する事が出来た。(知的障害 類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
242	飲食店などは、車いすで入れる場所が確保されていないため、気軽に自由に入れにくい。(身体障害)	4
245	床屋に行った際、障害の特性でトイレや水分補給が必要で席を立つのが多かった。その時店員に「死なすよや」と言われた。(精神障害)	4

④雇用

248 就職しても、障害を理由に繰り返し解雇になった。(身体障害 類型1)

257 透析による時間の制約により、雇用者から「継続雇用」できないと言われ、退職せざるを得なかった。(身体障害 類型1)



283 高校を卒業して、本土で一般企業に就職した。「仕事ができないなら家に帰れ」などひどいことを言われた。最初は我慢していたが、限度を超えたので、職場を辞めた。(知的障害 類型2)



266 職場での話し合い時、要約筆記をお願いしたが、1人のためにお金は使えないと上司に断られた。(身体障害 類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
270	就業していた頃、職場の上司などから、数字がわからないとか仕事が遅いといわれ、どなられたりした。(知的障害)	4

⑤教育

330 学校生活に適応できず、逃げ帰ってきたりする。先生の理解がなく「保護者がつきつきりで頑張らせてください」と言われ、実際1日中付き添ったりした。(発達障害 類型1)

305 学校の教室の中でも、苦しんでいる子どもたちがノートテイク(要約筆記)を使って、学べるようになってほしい。(身体障害 類型3)

345 身体障害があり、運動会の時、先生から「この種目は休んで」といわれた。みんなと走れなかった。なぜ一緒に走れなかったのだろうと残念に思う。(身体障害 類型1)



329 急な環境の変化に弱く、イベント練習のための時間割変更、担任やコーディネーターの転勤のときはパニックや自傷行為が起きやすい。学校の理解が必要。(発達障害 類型3)



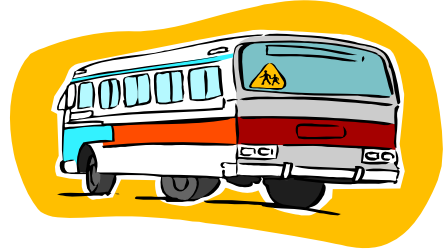
359 特別支援学校では、卒業後の自立について学ぶ機会が就業体験くらいしかなかった。介助者の使い方、郵便局の使い方、あまり1人で外を歩くこともなかった。自立について考える機会もなかった。(身体障害 類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
316	小学校入学時に、教育委員会から、障害程度の重い子供の学ぶところが特別支援学校しかないと言われた。(＊関係者は、言動に注意が必要。)(知的障害)	4
331	アスペルガーと診断され学校に話したが、校長に「こんな子は初めて見た。うちは養護学校じゃない」と言われた。ヘルパーをつけ頑張って登校させたが、ヘルパーも知識が薄く「わがまま、甘えてる」と言われた。本人は学校を「ドキドキする、怖い」と言っている。(＊関係者は、言動に注意が必要。)(発達障害)	4

⑥建物等・公共交通機関

376 車椅子に乗って家族と一緒に散歩していた時、雨が降ってきたので、タクシーに乗るため手を上げたが、数台のタクシーに素通りされ、結局、雨にぬれながら帰宅した。(身体障害 類型1)



389 バスに乗ろうとしたら、発車されたことがある。乗車拒否された。(身体障害 類型1)

436 「他の人に迷惑がかかるから」と飛行機の搭乗を断られた。(発達障害 類型1)

420 高速道路で車が故障したときに、聴覚障害があるため電話もできず、立ち往生となった。手を挙げていたら幸い停車してくれた方がいてレッカー車を呼んでもらったが、普通はなかなか停まってくれない。(身体障害 類型3)



403 病院等に多いが、トイレがカーテンで仕切られているだけで、ドアが無く、不快な思いをした。(身体障害 類型3)



456 祭りとかの会場に障害者トイレがない。いきたくてもいけない。(＊大規模な場合)(身体障害 類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
381	白杖を使用するため点字ブロックがないと不便。ない場合は、路肩の段差に白杖をあてて歩くので物にぶつかる。電柱に頭をぶつけたこともある。	4
415	一般の講習会や映画館等で、一方的に席を指定される。(選択肢がない)(身体障害)	4
432	バス停の表示や案内について「分かりにくい」「漢字が読めない」「意味が分からない」(知的障害)	4

⑦住まい

466 契約して家賃を払った後に、家主から契約を破棄したいと言われた。隣の部屋の人から、火の取り扱いが怖い
ため、視覚障害の自分を入居させるなら、他の部屋の住民はみんな退去すると言われたらしい。結局、支払った家賃の倍の金をもらい、契約解除となった。(類型1)

470 アパートを探す時、部屋は空いているにもかかわらず、聞こえないことを理由に断られた。生活する場がないと困る。(類型1)

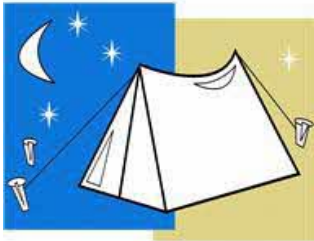


475 不動産業者の物件一覧表に「障害者不可」と書いてある物件があった。理解不足だと思う。(類型1)

478 1年前アパートを探していたが、2~3か所で断られた。火事が心配とのことであつた。やっと、4か所目でアパートを借りられた。バリアフリーの物件が少ないのと、大家さんの理解不足が問題。(宮古島では、賃貸物件が全体として少ない。)(身体障害 類型1)



476 自分が障害を持っていることを大家さんに言わずに部屋を借りたが、障害があると分かったときに、出て行ってくれといわれて部屋を退去した。(類型1)



481 精神障害を理由に住まいが借りれなくて、野宿を数か月していたことがある。(類型1)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
472	不動産業者で、最初はニコニコ笑顔で対応されたが、障害がわかると態度が急に変った。(身体障害)	4
473	腹膜透析を行う際に出る透析液を入れるバッグを捨てたら、大家さんに医療廃棄物と思われ、注意された。 ※燃えるごみとして廃棄可能(身体障害)	4

⑧情報の提供等

484 役場に手話通訳者が設置されていないため困る。ぜひ、設置して欲しい。
(類型1)



510 職場の会議で、上司に「会議室に要約筆記者を入れてもらいたい」と要望したが、「それは、できない」と言われた。その理由は、外部から要約筆記者を入れると、会議内容が外部にもれる恐れがあるためとのこと。
会議内容の情報や勉強会の内容を分からないまま、職場生活を過ごしました。
(類型1)

493 地域で災害時の要援護者登録をしたものの、誰が支援するのか、避難場所はどこなのか、バリアフリー対応なのか等、まったく知らされていない。(身体障害 類型3)

500 情報保障として、少なくとも県が主催する講演などでは、手話通訳や要約筆記、磁気ループの対応をしてほしい。
(*磁気ループ…聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備)(類型3)



494 地震・津波の時などに、どこへ避難すればいいのか、どこへ行けば食事が取れるのか、役場に通訳が必要だ。(聴覚障害がある場合)(類型3)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
512	会議資料に難しい漢字があり、読めないこともある。その後資料にルビを打つということを知った。しかし、ルビを読めても難しい言葉だと言葉の意味自体が分からないこともある。(知的障害)	4
513	会議に支援者が入れないことがあり、話の途中わからない言葉が出てくると、そのままになってしまう。そのため終わって時間が経つと何を話していたか思い出せない。振り返りたくてもできない。	4

⑨所得



515 障害年金が年々減っている。減らされたら生活できない。(身体障害 類型4)

516 精神障害者の中には、年金をもらっていない人も多い。(精神障害 類型4)



518 障害をもっている子供には財産をあげないという事などがある。(精神障害 類型4)

⑩その他



520 親戚の冠婚葬祭には一度も呼ばれたことがない。結婚式では、障害者は不吉で汚いし、見栄えが悪いと言われた。(身体障害 類型1)

563 聴覚障害のため、交通事故等の際、警察や救急とのやりとりが難しい。(類型3)



542 視覚障害があるが、雨降りの時、水たまりがあるからと「こっち、こっち」と誘導され、畑の中に連れて行かれた。(類型1)

つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例

番号	内容	類型
534	高校生の頃、(目の白い部分が目立っていたため)、「ソーミナー(めじろ)」というあだ名をつけられたのがいやだった。	4
555	スーパーの店員等が、話題の主体である自分(障害当事者)ではなく、そばに居る介助者に話しかける。(身体障害)	4
561	聴覚障害があるが、選挙で立候補者の政策がわかりにくい。政見放送に手話通訳があっても、内容が難しくてわからない。聞こえる方はお互いに情報交換したりテレビの解説番組などを見て把握するのもかもしれないが、聴覚障害者には理解が難しい。	4